

第5学年 英語科学習指導案

2組 42名 授業者 八木 裕太郎
JTE 坪山 麻衣子

1 単元（題材） Unit7 Welcome to Japan. 「ALTや台湾の友達に日本の魅力を伝えよう」 （東京書籍 NEW HORIZON Elementary 5 English Course）

2 単元の目標

ALTや台湾の友達に日本の魅力について深く理解してもらうために、文化的な背景等を踏まえて、自分が伝えたいと思う日本の行事や文化に関する内容を自分の考えや気持ちを付け加えながら分かりやすく伝えることができる。

- (1) 日本の文化や年中行事を表す簡単な語句や基本的な表現について理解し、聞き取ったり話したりすることができる。 【知識及び技能】
- (2) ALTや台湾の友達に日本の行事が楽しみだと思ってもらえるようにするために、伝えようとする内容を整理し、日本の文化や年中行事を表す簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- (3) ALTや台湾の友達の出身国や文化的背景に配慮しながら、主体的に日本の文化や行事を表す簡単な語句や既習事項、音声で慣れ親しんだ基本的な表現を用いて行事や文化、その行事でできることなどを伝え合おうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

発表例

Hello. I'm ~. And I'm ~. We like (season). Do you like (season)? Please look ! This is (fireworks). We have (Fireworks festival) in summer. You can see (big fireworks). It's beautiful. And you can (buy many foods). Please look ! Do you like it / know it? I usually eat shaved ice. It's good. Please come to Japan. Let's enjoy! Thank you for listening.

3 単元の評価規準 ※ 中心領域 話す〔発表〕

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと〔発表〕	〈知識〉 四季や年中行事、様子を表す言い方、 (We have ~ in ~. What do you do on ~? Why do you like ~? I usually ~.) の表現について理解している。 〈技能〉 ALTや台湾の友達に日本の魅力について深く理解してもらうために、事実や気持ち、自分の考えを整理し、行事や文化、その行事でできることなどについて (We have ~ in ~. You can see/eat/play/do ~. I usually ~. I like ~. It's beautiful/delicious/fun/exciting.) などを用いて、考えや思いを伝えるための必要な技能を身に付けている。	ALTや台湾の友達に日本の魅力について深く理解してもらうために、行事や文化、その行事でできることなどについて、既習事項や音声で慣れ親しんだ基本的な表現に自分の考えや気持ちを付け加えながら分かりやすく伝えている。	ALTや台湾の友達に日本の魅力について深く理解してもらうために、行事や文化、その行事でできることなどについて伝え合う活動に粘り強く取り組み、既習事項や音声で慣れ親しんだ基本的な表現に自分の考えや気持ちを付け加えながら分かりやすく伝えようとしている。

4 単元について

(1) 単元の位置とねらい

これまでの学習で、児童は自分のことを友達に紹介したり、鹿屋小の先生や鹿屋小周辺のおすすめの場所をALTに紹介したり、地域にちなんだオリジナルメニューを考えて、レストランでのやり取りを友達と楽しんだりする活動を行ってきた。

本単元の教科書の本文は、日本の魅力について、四季や文化、行事などの中から紹介することから、「話すこと〔発表〕」を指導の重点として年間指導計画に位置づけている。Big Goal は、ALTや台湾の友達に日本の魅力が伝わるような紹介をする活動とする。児童に自国の文化を理解させた上で、事実や自分の考え、気持ちなどを伝える力を育成したい。

また、既習事項や音声で慣れ親しんだ基本的な表現を生かし、自分の思いを伝えたり、相手に詳しく魅力を伝えたりするために、感想や自分の考えなどの情報を付け加えることで相手意識をもって活動できるようにすることをねらいとしている。

(2) 教材について

本単元は、日本の行事や文化について考え、日本の魅力について英語で紹介する学習内容である。教科書資料ページ (Over the Horizon) を活用し、世界の人々が日本文化に興味をもってい

たり、外国人旅行者が日本を多く訪れたりすることから世界に広がる日本文化の魅力について考える。伝える相手を「ALT」や「台湾の友達」と設定することで、相手の出身国や文化などといった背景にも思いを巡らせ、日本の行事が楽しみだと思ってもらえるように伝えるという目的に合わせ、伝えたいことを整理しながら学習する。

まず、四季や文化についておおよその内容を聞き取ったり、日本の行事や特徴を伝えるための必要な表現（We have ～ in ～. You can see/eat/play/do ～. I usually ～.）や言葉（季節・月日・遊び・年中行事）に慣れ親しんだりする活動を大切にする。次に、どんな行事で何を伝えたいか考え、日本の遊びや年中行事、それぞれの季節にすることやできることなどのやりとりをして、表現に慣れさせる。発表に向けては、既習の言語材料を活用し、板書を参考にする、先生や友達に聞く、モデル動画を見る、お互いに撮影する等の方法の中から選択し自分に適した方法で練習をすることができるようにする。そうすることで、個人の課題に合った練習を行うことができるようにし、より深く相手に伝わる工夫を取り入れながら学習できるようにする。

(3) 児童の実態（質問紙 令和4年12月12日 42名実施）

ア 自分の問いを見いだすことへの意識			
英語の授業で、解決したいことやできるようになりたいこと（問い）を自分で決めて取り組んでいますか。			
いつもできている	24人	ときどきできている	16人
あまりできていない	2人		
イ 自分の問いの解決への見通しを立てることへの意識			
英語の授業で、解決したいことやできるようになりたいことを解決するために、方法や手順、結果を予想しながら取り組んでいますか。			
いつもできている	18人	ときどきできている	21人
あまりできていない	3人		
ウ 自分の問いに対する自分の考えを見いだすことへの意識			
英語の授業で、解決したいことやできるようになりたいことに対する、自分の考えをもっていますか。			
いつもできている	22人	ときどきできている	15人
あまりできていない	5人		
エ 友だちの考えの意図を受け止め、よりよい考えを見いだすことへの意識（広める・深める）			
英語の授業で、友達の良いと思ったことを取り入れて、より良い考えにしていっていますか。			
いつもできている	25人	ときどきできている	14人
あまりできていない	3人		
オ 学びを生かし自分の考えを再構築することへの意識			
英語の授業で、わかったことや発見したことを取り入れて、より良い考えにしていっていますか。			
いつもできている	15人	ときどきできている	24人
あまりできていない	3人		
カ 学びを振り返り、学びを自覚していることへの意識			
英語の授業で、学びを振り返り、自分の成長を感じ、学んでよかったなと感じられていますか。			
いつもできている	25人	ときどきできている	13人
あまりできていない	4人		

以上の実態から、英語の学習では、解決したいことやできるようになりたいことなどの自分の問いを決めて学習できている児童が多い。また、学習する際には、自分の考えを英語で表現し、友達の良いところを取り入れながら自分の発表を更に高めようと努力する児童が多く意欲的に学習している。しかし、最後の発表では自信をもって発表する児童もいれば、自信をもてず、JTEや周りの友達の補助を受けながら発表する児童もいる。児童が自信をもって活動し、更に発表をよりよいものにするために本単元の指導に当たって以下のような手立てを行うこととする。

5 指導上の留意点

単元導入では、まず、Small Talkを行うことで既習事項や本単元で扱う表現を位置付け、話す活動へとスムーズにつなぎ、前時までの学習を想起させる（イ【見・考】）。Big Goalを確認し、試しの発表（Try and Error）を行う。試しの発表から自分の課題を知り、重点的にできるようになりたい表現を意識させる。[使用する表現]を確認することで、本時でできるようになりたい表現を明確にする（イ【見・考】）。次に、振り返りシートを基に、自分の問いや本時で意識・解決したい課題について確認することで、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする（イ【個】）。また、伝える相手の人柄や出身国について考えることで、どのような伝え方が良いか考えさせて発表につなげさせる（イ【見・考】）。

展開では、台湾の児童の紹介動画を見ることで、発表に取り入れたい表現や発表方法について考える。映像を見ることで伝える相手の立場や伝える目的を再度明確にしたり、自分の考えや感想を入れたりすることで、相手により魅力が伝わりやすいことを全体で共有する（エ【協】【見・考】）。表現の練習の際は、児童（ペア）が板書を参考にする、先生や友達に聞く、モデル動画を見る等の中から、自分の課題にあった方法を選択し、学びの方法を自己選択・自己決定して学習できるようにする（ウ【個】）。よりよい発表にするために、児童同士でお互いにアドバイスしながら学習を進めさせ、発表の改善につなげる（エ【協】）【見・考】。途中で中間指導を行い、他の児童の発

表から自分の発表に取り入れたいことを考えさせる。自分の課題に気づいたり、生かせそうな表現を考えたりしながら、自分の考えを再構築させる(エ【協】【見・考】)。

終末では、本時の成果を発表する時間を設ける。自分が話す姿をタブレットで撮ることで、客観的に発表を評価、修正したり、自己の成長を実感したりできるようにする。「Try and Error」を繰り返す中で、課題解決したり、「付け足しの1文」を加えたりして、より魅力的な発表にするために努力できたかを振り返り、自分の考えを再構築できるようにする(オ・カ【個】【見・考】)。また、台湾の小学校に向けて日本の紹介を行い、児童のよかったところを称賛することで、達成感を味わわせるとともに、次時の活動の意欲を高めることができるようにする(カ【個】【協】)。最後に、練習の成果やその過程で得た学びを生かして、振り返りを実施し、次の学びへつなげることができるようにする。振り返りシートは、自分の姿を1～10点までの点数に表すことで前回の自分と比較できるようにし、次の課題も明確にすることで次時の学習につなげる(カ【個】【見・考】)。

6 指導計画 (総時数8時間)

離	主な学習活動	時間	知	思	主
問 い を も つ ・ 見 通 す	1 単元のゴール (Big Goal) を決めて、達成するために必要な語彙や表現を考え、自分の問いをもつ。(ビデオレターを視聴, Over the Horizonを活用) ・ 課題を解決するための学習計画を確認し、単元の見通しをもつ。 ・ 台湾の国の情報を知り、日本の魅力ある行事を紹介したいという意欲をもつ。 ALTや台湾の友達に、日本の魅力ある行事を紹介しよう。	1			○
自 分 の 考 え を も つ ・ 広 げ 深 め る	2 日本の文化や行事を伝えるために必要な表現や言葉に慣れ親しむ。(季節・月日・形) ・ 日本の四季や文化についておおよその内容を聞き取る。(starting out) ・ 評価基準, 個に応じた学習方法の確認 ・ 試しの発表 (Try and Error), 発表練習①	1	○	○	
	3 日本の文化や行事を伝えるために必要な表現や言葉に慣れ親しむ。(遊び・年中行事) ・ 年中行事や遊びについておおよその内容を聞き取る。(Let's listen) ・ 試しの発表 (Try and Error), 必要な表現の確認 ・ 発表練習②	1	○	○	
	4 日本の行事やその行事ですること, できることなどを伝えるために必要な表現を使って, やり取りをする。(Let's try) ・ 試しの発表 (Try and Error), 必要な表現の確認 ・ 友達とのやり取りの中で, 発表に生かせそうな表現を見つけたり, 考えたりし, 自分の発表を更に深める。(すること・できること・食べ物など) ・ 発表練習③	1		○	○
	5 紹介したい行事やその行事ですること, できることなどを伝えよう。 ・ 試しの発表 (Try and Error), 必要な表現の確認 ・ モデルスキットから発表に生かせそうな表現を考えたり, 既習事項を用いてやり取りをしたりして自分の発表を更に深める。 ・ 発表練習④	1		○	○
再 構 築 す る ・ 振 り 返 る	6 紹介したい行事やその行事ですること, できることなどを伝えよう。(本時) ・ 台湾の児童のモデル動画を見て, 自分に必要な表現を取り入れて練習する。 ・ 試しの発表 (Try and Error), 必要な表現の確認, 発表練習⑤ ・ 台湾の児童に今の自分の発表をタブレットで撮影して送り, 次時にフィードバックできるようにする。	1	○	○	
	7 紹介したい行事やその行事ですること, できることなどを伝えよう。 ・ 台湾の児童からのフィードバックをもとに発表を更に深める。 ・ ペア以外の友達で発表のアドバイスをする。 ・ 発表練習⑥	1			○
	8 エディー先生や台湾の友達に, 日本の魅力ある行事を紹介しよう。 ・ 日本の魅力を ALT や台湾の児童に伝える。 ・ 発表練習の際に撮影した動画を見て振り返り, 自分の問いについて振り返るとともに, 今後の生活や学習につなげられるようにする。 ・ 単元の振り返りを行い, 児童同士で感想を共有する。	1	○	○	○

7 本時（6／8）

(1) 目標

- 相手の出身国や文化的背景に配慮しながら、主体的に簡単な語句や既習事項、音声で慣れ親しんだ基本的な表現を用いて行事やその行事でできることなどを伝え合おうとしている。

(2) 本時の展開

子供意識や反応 ○☆ 指導の手立て ※評価

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て ○HRT ☆JTE	基本的な語彙・表現
問いをもつ・見通す	10	《Warm-up》 1 あいさつをする。 2 Small Talkを行う。 3 試しの発表を行い、本時で活用できそうな表現を確認する。 ・ You can eat/see/enjoy ~.の部分が言えるようになりたい。 ・ 相手が聞き取りやすいスピードで話せるように意識しよう。 4 Today's Goalを確認する。 より魅力的な発表にするためにはどんな工夫が必要だろうか。	○☆ Small Talk では、既習事項や本単元で扱う表現を位置付ける。イ【見・考】 ○☆ 試しの発表から自分の課題を知り、本時で活用できそうな表現を【使用する表現】から確認することで、コミュニケーションの見通しをもてるようにする。イ【見・考】 ○ 振り返りシートを基に、自分の問いや本時で解決したいことを振り返り、目的・課題意識をもって学習に取り組むことができるようにする。イ【個】 ○ ALT や台湾の児童の人物や出身国について考えさせ、相手にとってどのような伝え方が良いか意識させる。イ【見・考】	【使用する表現】 We have ~ in ~. You can eat/see/enjoy ~. I usually ~. Please look ! This is~. Do you like / know it? It's ~.
自分の考えをもつ・広げ深める	20	《Activity》 5 台湾の児童の紹介動画を見ることで、発表に取り入れたいことを考える。 ・ 自分の考えや感想を付け加えることで分かりやすくなる。 ・ 質問をすることで聞いている人の興味がわく。 6 紹介したい行事や文化などを伝える練習をする。 ① 自分（ペア）に適した方法で発表に向けて練習をする。 ② 他の児童の発表を視聴し、よりよい発表について考える。 ・ オンラインでも伝わりやすいように間をあけている。 ・ 伝わりやすい声の大きさだ。 ③ 気づいたことをもとに発表に向けた練習を行う。	○☆ 動画を全体で視聴することで自分の発表にどのように生かすべきか考える。 エ【協】【見・考】 《自分（ペア）に適した学習方法》 板書を参考に、先生や友達に聞く、モデル動画を見る等の方法の中から選択することで、個人の課題に合った練習を行うことができるようにする。ウ【個】 ○☆ 児童同士で、よりよい発表にするために、お互いにアドバイスし合いながら学習を進めさせる。エ【協】【見・考】 ○☆ よりよい発表ができている児童を紹介し、中間指導をすることで、発表を深められるようにする。エ【協】【見・考】 ※ 相手の出身国や文化的背景に配慮しながら、主体的に簡単な語句や既習事項、音声で慣れ親しんだ基本的な表現を用いて行事やその行事でできることなどを伝え合おうとしている。	季節 様子 行事 New Year's day Setsubun Valentine's Day Doll's Festival Hanami Children's day Star Festival Full moon viewing Halloween Christmas 【例文】 Hello. I like (season). Do you like (season)? Please look ! This is (fireworks). We have (Fireworks festival) in summer. You can see (big fireworks). It's beautiful. And you can (buy delicious foods). Please look ! Do you like it / know it? This is shaved ice. It's delicious. Please come to Japan. Let's enjoy! Thank you for listening.
再構築する・振り返る	15	《Review》 7 本時の成果を発表する。 8 台湾の小学校に向けて日本の紹介を行う。 9 学習をまとめ、振り返る。 日本の魅力を前回よりも伝えられるようになりました。感想や自分の考えも伝えると魅力がさらに伝わると学びました。○○さんが、オンラインの特徴を生かし、間をあけて、相手に伝わりやすい声の大きさを発表していたので、とても参考になりました。今度は、夏祭りの食べ物や味の感想なども入れたり、間をあけて発表したりと日本の魅力をもっと伝えられるように練習します。 10 あいさつをする。	○ 発表の成果を撮影し、客観的に発表を評価、修正したり、自己の成長を実感したりできるようにする。オ・カ【個】【見・考】 ○☆ 台湾の小学校に向けて日本の紹介を行い、児童のよかったところを称賛することで、達成感を味わわせるとともに、次時の活動の意欲を高めることができるようにする。カ【個】・【協】 ○ 本時の学習でできるようになったこと、大切な考え、新たな疑問や次の課題などを振り返らせ、次時への自分の問いへとつなげられるようにする。カ【個】【見・考】	